

## 中国帰国者激励会出席報告

11月30日、社会福祉法人大阪自興会主催の「励ます会」に出席しました。「中国帰国者の日々の生活に少しでも役立つ情報を伝達し、友人との語らいの場に、悩みの解消に少しでも役立つ場の提供」を趣旨として毎年開催し、今回各種団体代表や自立支援者・帰国者家族含め約200名が出席し盛大に行われました。たくさんの子供たちが参加された事が印象的でした。



今西新理事長の挨拶から始まり、日本語も不自由な帰国1世の方々や家族友人に対し、「防犯」「自立支援」「年金」「住宅」「バザー開催」情報等を日本語と中国語で丁寧に提供されていました。今回同じテーブルで隣にいた(社団)大阪中国帰国者センター常務理事の高崎様(帰国者2世)と懇談する機会を得て、自立支援活動の実態と難しさを知ることができました。更に、当会設立の経緯や入会の切欠・中国から帰国するまでの話をしました。その中で、高崎常務理事に持参した小説「翼よよみがえれ」の発行趣旨を説明したところ、非常に興味を持って頂き、更に「DVD 日本籍労戦士訪中ドキュメント櫻櫻」も含め購入して頂きました。

安倍内閣は在留邦人の救出や外国軍隊の救援の為に集団的自衛権の行使容認を決め、法整備を進めています。在留邦人救出に関し、国策により旧満州移民を半強制され、終戦の混乱時には国家から見捨てられ、多くの邦人が亡くなり、更に現在も残留孤児や婦人等の問題が解決されていません。平成27年は終戦70周年になりますが、高齢化が進む中国帰国者家族に対し国家が責任を認め、未来に希望を与える温かい支援することが、日本国家の品格を国際的に高める事に繋がるのではないのでしょうか。